

重要文化財旧函館区公会堂展示設計プロポーザル審査会に係る 審査結果について（通知）

重要文化財旧函館区公会堂展示設計プロポーザル審査委員会は、平成30年8月29日に開催された審査会において、1者によるプレゼンテーションおよび質疑応答、平成30年10月18日に追加説明および質疑応答を行い、厳正かつ公正な審査の結果、下記のとおり最適提案者を選定する。

記

1 審査結果

株式会社乃村工藝社を最適提案者として選定する。

2 選定理由

旧函館区公会堂は、明治40年(1907)の大火により焼失した町会所に代わる施設として建設され、明治43年に完成した函館区（現在の函館市）の公会堂である。明治44年の皇太子（後の大正天皇）来道の際には御在所として使用され、昭和49年(1974)には、改造が少なく保存も良く、公会堂建築の一遺構として価値が認められるとして、国の重要文化財に指定された。

このたび、建物の耐震補強を含む保存修理工事を実施するのに合わせて展示設備の更新を行うことから、重要文化財建造物に相応しい展示設備設計業務の委託先を選定するため、指名型プロポーザルを実施するにあたり3者を指名したが、指名業者3者のうち2者が辞退したことから、1者のみの参加となった。そのため実施要項に則り、あらかじめ市が定めた評価基準を設け、その基準を満たした場合企画提案者を最適提案者として選定することとした。

最適提案者として選定した業者は、文化財建造物の展示設計業務の実績があり、一級建築士資格保持者が業務体制に組み込まれていることから、企画提案者の実績および能力は十分なものであると判断した。

提案内容についても重要文化財旧函館区公会堂保存活用計画の内容を踏まえたものになっている。また、審査会における質疑に対しても十分な回答が出されているほか、設計方針等の方向性に問題はなく、概算事業費の各項目についても内訳が提示され、妥当な積算であると評価したところである。

以上の評価については、各審査委員の採点においても、十分な得点が得られ、全会一致で選定したものである。

なお、今後においては本提案を基本としながら、より充実した内容になるよう、市としてもさらに検討を深めていく必要があるものとする。

平成30年10月18日

函館市長 工藤 壽樹 様

重要文化財旧函館区公会堂

展示設計プロポーザル審査委員会

委員長

木村 健一

委員

石玉 紀仁

委員

菊池 幸恵

委員

迎山 和司

委員

堀田 三千代